



# 安全は美しい職場から

第1回

特定社会保険労務士 佐藤重夫

日本の職場においては、旧来より労働災害防止のために色々な安全活動の手法が取られてきました。安全活動は、ややもすると上からの押しつけのように捉えられがちですが、労働者の積極参加による「全員参加」で安全衛生活動を展開することが大切です。全員参加の手法をいくつか紹介します。



- ◆ **1 4S (整理・整頓・清潔・清掃) 運動**  
整理 いるものといらないものを分け、いらぬものは処分する↓作業効率が上がって転倒災害防止になる
- ◆ **整頓** いるものを使いやすく、わかりやすく収納する↓無駄な時間が減り、災害防止・品質向上につながる
- ◆ **清潔** 汚れを取り除いて身の周りをきれいにする↓製品の品質向上、食中毒の防止、異物混入防止等になる
- ◆ **清掃** 制作設備、作業場所の汚れやゴミを除去する↓設備の機能維持や転倒災害等の防止につながる
- ◆ **5Sとして習慣(または躰)** 決められたことをきちんとやる↓繰り返しにより、意識しなくても自然な安全作業行動につながる
- トヨタでは「作法」を加えて6S、食品業界では「洗浄、殺菌」を加えて7S等、職場に応じた活動で環境を整えて安全意識の高揚を図るため5S+

となっており、  
昨今、労働災害は、減少傾向にありますが、転倒災害については、増加傾向にあります。転倒災害の典型的なパターンは、滑り・つまずき・踏み外しです。ペットボトルが作業床に落ちていたのを確認しながら、片づけずに作業に入り、それに足を滑らして手をついたため怪我をして、今なお治療に当たっているケースがあります。多々あることです。が、両手で物を持ちたりした場合、一瞬その状況を忘れてしまつて、このような災害に見舞われることがあります。作業を開始する前に、事前に4Sの習慣付けによって、未然に災害から逃れることが肝要です。

## 2 ヒヤリ・ハット運動

作業開始前に「ヒヤッ」とした「ハッ」とした、いわゆる怪我にならずに済んだ体験を報告しあつて、未然に災害要因を取り除いて類似災害を防止する活動です。

## 3 危険予知(KY)活動

職場や作業状況の中に潜む危険要因とそれを引き起こす現象を、職場や作業の状況を描いたイラストシートを使って、小集団で考え、理解しあつて、危険のポイントや行動目標を決定し行動する前に安全を先取りする活動です。

## 4 リスクアセスメント

事前に職場にある潜在的な危険または有害性を見つけて出し、これを除去、低減するための手法です。職場の仕切りにドアがあつた場合、ドアの向こうに人がいるかもしれない、段差があるかもしれないなど、色々な危険源が存在しています。作業に取り掛かる前に、危険源を取り除き災害に繋がらない

ようにすることが肝要です。

職場では、台車等、運搬車両をよく使用します。車がついているものは、少しでも床に傾斜があつたら、動き出す可能性があります。現に、車椅子に乗つた人が、ホームで電車を待っていると、動き出して怪我をしたケースが報道されました。車は、動くことが前提です。保管する場合、車止め板で防護しておかなければなりません。このように、すべての物の特性を把握し事前に危険・有害性を除去していくことが必要です。

## 5 指差喚呼(呼称・唱和とも言う)運動

労働者の不注意や錯誤をなくし、安全意識(感受性)を高めるために、指を差し、声を出して「○

○よし」と確認して次の作業行動に取り掛かります。元々鉄道運転手らが行つていたものが職場に取り入れられたものです。

他にも、ZD運動(ゼロデフェクト)へ無欠陥の略で、下からの盛り上がりにより重点を置き、小集団のグループで、業務上、安全上の不備を除去し、改善策を提案・実施する運動)、声かけ運動、オアシス運動など、日本では、職場ごと、各々がその職場にあつた手法で災害防止活動を行つてきました。どうして、毎日作業を進めるとマンネリや横着になつてきます。それを解消するためにも、職場の安全衛生活動に積極的に参加して、「美しい職場」実現のために、安全衛生の技法を学んでいって職場の安全衛生活動に寄与してください。安全に!

## イラストで見る危険予知【KY】活動

**導入** 整列、番号、挨拶、健康確認

### 第1ラウンド(現状把握) どんな危険がひそんでいるか?

●このイラストを全員で見て、考えられる危険をどんどん指摘する

#### 【状況】

外部非常階段の扉に塗装を行うため、ペーパーがけをしている



- 踏み台が手すりに近く高いので、後ろ向きに降りようとするとき手すりを超えて転落する
- 風にあおられて扉が閉まり、手を挟まれる
- 顔を近づけて作業をしているので風で塗装くずが飛び散り、目に入る



### 第2ラウンド(本質追求) 危険のポイントを探る

- 特に重要な危険に○印を付ける
- さらに絞り込んで「危険のポイント」に◎印とアンダーラインを引く

◎印の項目を指差し唱和!



- ① 風にあおられて扉が閉まり、手を挟む
- ② 踏み台が手すりに近く高いので、後ろ向きに降りようとするとき手すりを超えて転落する
- ③ 顔を近づけて作業をしているので風で塗装くずが飛び散り、目に入る
- ④ 踏み台を踏み外して塗料の入っているパケツを蹴飛ばして、下の人にあたる